

高橋貞樹

たかはし せいき

社會運動家。

明治二十八年大分縣生れ、昭和十年十

一月（白旗）（一九五一—五）。

筆名内田隆吉、大村喜助、大畑徹、小關敏、

永田幸之助。東京商科大学中退。在學中山川均の土曜會に参加はり、雜

誌『前衛』小關與。大正十一年大阪へ赴き水人社青年同盟、無産者同

盟に参加、機關誌『選民』發刊。十五年ソ聯へ渡り、レーニン講習所

へ學ぶ。昭和二年歸國して日本共產黨中央部で活動と檢査せられ、懲

役九年受刑。その後病を獲て執行停止出獄後死去。

著書、『特殊部落の歴史と水人社運動』（大正十一年七月五日療友社）、

『特殊部落二十年史』（大正十二年五月二十日京都・更生閣）、『世

界の資本主義戦（列國帝國主義の發達史）』（大正十四年八月十五日

白揚社）、『日本プロレタリアートの問題』（昭和六年二月二十日希

望閣）等。

